



3 学期 始業式の話

平成4年 新しい年を迎えました。

みなさん。あけましておめでとうございます。今年一年がうさぎのように何事にもぴょんぴょんと軽やかに挑戦する一年になることを期待しています。

今年の元旦もここ数年初日の出に願い事を託しました。

今年の初日は、若干雲がありましたが、非常に穏やかで、すがすがしく写真のように素晴らしい、ご来光であり今年一年がいい年になるようなそんなことを予感させる初日でした
私自身 この素晴らしい ご来光にありきたりですが…

榛原中学校に関わる全ての方が健康で、笑顔を絶やさず、幸せな一年になるように 願いをしました。

みなさんは どんないしごをしましたか？

今日から本年度の最終年度である 3学期が始まります。

昨日までの冬休みはどんな休みだったでしょうか？私の所に、一切連絡が入っていませんので、全員が病気や事故に会うこと無く無事に過ごすことができたのではないかと思います。

その他、計画した学習は予定通り実施できましたか？また冬休独自の年末年始の行事には積極的に参加できたでしょうか。

この後の学活の中で、学級の仲間や先生にどんな休みだったか報告してください。

この冬休み年末に行われたソフトテニスの東海大会で本校女子テニス部が躍動しました。団体戦は予選リーグ 3校一勝一敗で1セット差でリーグ2位。惜しくも決勝トーナメント進出を逃しました。

個人戦では須藤・寺尾ペアが予選リーグ 2勝2敗としましたが、3位でこちらもあと一歩の所で決勝トーナメント進出を逃しました。

8人全員が試合に出場し、しかも2年生3人、1年生5人というメンバー構成でこれだけの成果を残せたのは、素晴らしい経験になったはずですよ。

今後 さらなる成長が期待されます。

3学期は感謝のロードですよ。

この3学期は、49日間と非常に短い学期ですよ。俗に、一月は行く 二月は逃げる 三月は去ると言われますが、あっという間に終わってしまいます。

だからこそ、新年に打ち立てた自分自身のところざしの達成に向けて一日たりとも無駄に過ごすことが無いよう、日々の生活を充実させ、その中でも自分の成長にかかわったすべての人・もの・ことに感謝の気持ちをふくらめるとともに俗に新年度の0学期とも言われるように夢や希望に満ちた新年度を迎えられるようにするための準備期間としても大いに頑張っていきましょう。

1年生は今まで順調に榛中生として成長してきました。

そんな中、あと3ヶ月すると、あなたたちも先輩になります。今年の4月がスタートしたとき、新たに入ってくる1年生に あんな先輩になりたいって思われるような素晴らしい先輩になる準備期間です。

そうなるためにも、授業への取り組む姿勢をさらに向上させ、生徒会や部活動では2年生を支え何といっても、日々の榛中生活の当たり前のレベルを高くすることが重要です。

学習や諸活動の積み残しをしないで2年生となれるよう、この3学期をがんばりましょう。

1年生なら必ずできるはずです。

2年生。榛中のリーダーとして順調に活躍してくれています。4月からはみなさんが榛中を牽引していきます。来年度の榛中が今年同様に充実させ、一層素晴らしい学校になることができるかは2年生の活躍にかかっています。

そのためにも、2月に行われる伝統行事、立志の会で学年全体としてさらに成長した姿を見せてほしいと思います。期待しています。

3年生。3学期はいよいよ中学校生活の集大成。自分自身の力で進路を実現させる時です。まずは自身の進路希望達成に向けて全力で取り組みましょう。もちろん進路実現は個々の力で対応しますが、仲間の力も非常に大きな支えとなります。

3年生全体の素晴らしい雰囲気の中で、個々が目標に向かって頑張れるそんな3学期にしていきましょう。

そして、残された49日間の中学校生活の当たり前を充実させ、この学校を巣立つときに『榛中で良かった』と心から実感しながら卒業できるようになってほしいです。

榛中がみんなにとって 未来の出発点 となるように。

みなさんなら 必ずそうしてくれるはずです。期待しています。

さて、みなさんは新年どのような抱負を持ちましたか？いいかえれば、自分の今のところざしは何ですか？まずは、みなさんがこのところざし達成に向けて目標を持ってその達成を目指して地道に努力し続けることでところざしの達成に近づくことになります。

この地道な努力がみなさんを大きき成長させます。

本年度榛中生に身につけてほしい力は 自己理解力です。自己理解力とは、自分自身の特性を知ったうえで自分を好きになる ことです。

この自己理解力が高まれば、関連して主体性 判断力 他者理解 コミュニケーション力 これらを伸ばすことにつながりさらに、こうした力が伸びることで 将来設計力 いわるゆる ころざし が身に付くはずです。

まずは自己理解力を高めるために すでに1・2学期から取り組んで来てはいますが様々な場面で正し振り返りをしその中で、見いだした自分自身のよさや課題をまるごと受け止め、好きになることで自分を伸ばしてってください。

みなさんのさらなる成長を期待しています

少し古い話題になりますが昨年一年をあらわす漢字は 戦 せん でした。

ロシアのウクライナ侵攻により、「戦」争の恐ろしさを目の当たりにした一年で、円安・物価高による生活上での「戦」い、スポーツでの熱「戦」・挑「戦」も注目された、としています。

ちょうど一年前にウクライナ侵攻や 物価高そしてサッカーワールドカップなどのスポーツの盛り上がり誰が予想できたでしょうか？

一年前には、想像もつかなかったことが起こるなどこの先いったいどんなことが起こるのかを予想することが難しくしかも、非常に足早にいろんなことが起こる。

まさに先行きが不透明な時代です。

学校の中も大きくあり方が変わってきています。

始業式・終業式もこのようにオンラインで教室で行うことが当たり前になりましたし、タブレットが学校内に入り活用するようになったのも、およそ一年前のことですが今では使うのが当たり前になってきています。それだけ、変化は激しいということです。

では、そんな変化が激しい 予測困難な今をどうしていったら良いのでしょうか？

俳人 松尾芭蕉が 奥の細道を旅する中で説いたと言われる 不易流行ということば 聞いたことがありますか。

いくら世の中が変わっても 変えてはいけないもの が不易

世の中の変化に伴って変化していくこと 進化することが 流行

この考え方を持って生活していけば、 どんなに世の中が変わっても柔軟に対応して生き抜いていくことができるはずです。

では皆さんにとっての 不易は

日々高いころざしを持って生活することやその達成に向けて努力しつづけること がそうでしょうか。

流行は

新たに変わっていく様々な価値観を大切に感じる感覚と新たなもの・ことを創造していく こうした姿勢を大切にしていくことで

先行きが不透明でも安定した中に 大きな活力があり充実した榛原中学校を創り上げることにつながるはずです。

昨年 行われたサッカーワールドカップは 日本中に大きな感動を巻き起こしました。よく言われる 権田の18秒…ドイツ前での18秒間の神がかり的なセーブ。三苫の1ミリはスペイン戦で逆転ゴールにつながる、アシストその他にも 多くの話題がありました。こうした感動が起こったのも、監督・スタッフ・選手が一丸となって 例え相手が強豪国でも諦めること無く 挑戦したからこそ得られたものでしょうし、そのことによってサッカーの新時代を築き上げた森保ジャパンは 私達のこれからの生き方の指針となります。もう、選手、スタッフは次のワールドカップに向けて動く出しを始めています。目標の設定 そしてその達成に向けてひたむきに努力すること 何に 置いても 不易なんですね。

私は、毎年箱根駅伝をお正月の楽しみのひとつにしています。

今年は 駒澤大学が圧倒的な強さで優勝し、出雲・全日本・箱根の三大駅伝をすべて優勝で飾りました。

駒澤大学を引きいた大八木監督は 御年64歳 で今年を以て監督は勇退するようです。大八木監督と言えば、陸上界を代表する指導者ですが、箱根駅伝では10年以上勝つことできなかったために、今まで積み上げてきた指導法を変え、いくつかの練習方法の中から本人に練習を決めさせたり、積極的に選手とのコミュニケーションをとって信頼を深めた結果が 今回の三冠に繋がったようです。

まさに、自分の価値観を時代にあわせて変えていく まさに流行に遅れない変革です。

新年の最初にあたり先行き不透明な時代をたくましく生きていくためにも 不易と流行 意識してみてください。

このあと各学級で 新年の抱負を確認することと思いますが みなさんがどんな進化に挑戦しようと考えているのか 不易の根幹となります。3学期始まりからちょっと不安なことにコロナが急激に感染拡大しています。今年インフルエンザの蔓延も心配です。流行への対応も万全に。榛中のコロナ対策を引き続き徹底していきましょう。もう一度最後に確認します。

3学期は感謝のロード49日間とあっという間過ぎてしまいます。だからこそ、それぞれの立てたところざし 達成に向けて 日々を大切に感謝の心を行動に表し、一年のまとめとなる学期になることを期待して3学期始業式の話とします。

